

2025 年度(令和 7 年度)

社会福祉法人 江刺保育園

事業計画

2025年度（令和7年度）本部事業計画

江刺保育園が取り組む事業

- | | |
|--------------|---|
| 保育事業 | 8週を経過した乳児から就学前の児童までを受け入れる。 |
| 子育て支援事業 | 会場を2か所とし事業を継続して実施する。 |
| 病後児保育事業 | 保育中に発熱等体調不良となった児童を、保護者の要望に従って迎えに来るまでの間見守り保育をする。 |
| 延長保育事業 | 保育標準時間を超えた保育を実施する。最長で1時間延長する。 |
| 食物アレルギー児対応事業 | アレルギーのある児童に対して除去食、代替え食を提供する。
経過を観察し、保護者と協力し食事を提供する。 |
| 特別支援保育事業 | 発達支援の必要な児童を受け入れその児童の成長に合わせた保育を行う。
専門の機関と連携し、継続して経過を観察し児童の成長を支える。 |
| 感染症予防に努める | 感染症対策として、消毒・マスクの着用等を行う。行事や活動の内容を見直し予防に努める。 |

江刺保育園の事業内容

少子高齢化によって施設経営がますます難しくなっています。市内の公立保育所は合併や閉園が続いています。政府としても「保育の量」を追求する段階から「保育の質」を追求する段階になり、この傾向はしばらく続くという見解が出ています。このような中で各施設の定員充足率の低さ(定員と利用者数の乖離)が大きな課題となっています。江刺保育園は令和4年度に利用定員を90名から80名としましたが、令和7年度は70名の利用定員から始めることになり、現状ではその定員も満たすことができていません。ただ、今後利用定員の細分化に従って、現在の利用児童数に合わせて定員を変更する必要も考えられます。また、経営維持のための選択肢として、認定こども園へ移行してより広く利用者を受け入れる体制を整える必要も考えられます。

コロナ禍の影響が減りつつある中、2024年の出生数は前年から大きくは下がらず現状維持となりました。政府の少子化対策が功を奏しているのであれば、今後V字に出生数が回復する希望もあります。「若い世代の所得を増やす」「社会全体の構造・意識を変える」「全てのこども・子育て世帯を切れ目なく支援する」などの理念が現実となっていくことを願っています。

このような中で江刺保育園が行うべきことは、保育内容・保育の質を充実させ続けることです。子どもの数が少なくなっているからこそ、保育施設の必要性及び重要性はより大きくなっています。子どもたちがより長い時間を過ごす保育園だからこそ、江刺保育園が提供する保育の意味がより大きくなっています。だからこそ、子どもの保育を安心して任せられる保育園であることをこれからも続けていくことが大切です。

それに加えて、今後江刺保育園が「この場所にあり続ける」ことも、この地域のためにとっても大きな意義を持つことだと思います。卒園生にとっても、今ここで働く職員にとっても、地域の一人一人にとっても、継続的に江刺保育園がこの場所にあり続けることが大きな意味を持っています。姿かたちや働く人は変わっても、この江刺の地で「人に愛され、人を愛する子ども」をこれからも育み続けていくために、江刺保育園がどのような方向性をもって進むのかが問われています。

そのため、以下の項目を重点目標として掲げ、具体的な活動を行っていきたいと考えています。

1. 江刺保育園として保育理念に則った子ども達の成長を支える保育事業を継続する。
2. 施設を利用していない保護者、子育て中の保護者のための子育て支援事業を継続運営する。
3. 地域社会、並びに小学校、中学校、高等学校、その他の近隣施設及び地域と連携協力しながら社会に貢献する活動を行うことを努力する。
4. 今後園舎改築・建て替えの実施のため資金の準備、土地の選定、その他、具体的な検討を行う。
5. 定例評議員会1回、理事会年5回、監事監査年4回を行う。毎月1回佐藤晃信税理士事務所に施設及び本部会計の任意監査を依頼し、適正な会計処理に努力する。
6. 胆江地区保育協議会、岩手県保育協議会の活動に参加協力する。
7. 保育に関する社会の動向の把握や的確な計画策定のため、関連する研修に積極的に参加する。
8. 国の制度に従って江刺保育園職員の処遇改善を行う。
9. 様々な感染症に対する感染予防を継続して行う。消毒、手洗い、マスクの着用、適切な換気、その他必要な予防対策を実施する。
10. 幼保連携型認定こども園への移行について検討する。
11. 職員が働きやすいと感じるように、要望を聞き取りながら環境の改善を行う。
12. 経営状況をより強固なものにするために、水沢保育園・認定こども園睦保育園との協働・連携を深める。将来的には一つの法人となる可能性も考えながら、連携を行う。

令和7年度の役員等体制(令和7年4月1日時点)

	役員名	氏名	住所	備考
1	理事	遠藤清賢		理事長
2	理事	高橋 樸		前理事長
3	理事	掛江隆史		園長
4	理事	菅原則昭		
5	理事	菊池道世		主任保育士
6	理事	伊藤和枝		子育て支援担当主任
7	監事	酒匂節雄		第3者委員兼任
8	監事	遠藤則子		第3者委員兼任
9	評議員	高槻 譲		
10	評議員	野坂晃平		
11	評議員	後藤良信		
12	評議員	平野武栄		
13	評議員	菊池昌子		
14	評議員	相良昌彦		
15	評議員	阿部裕司		
16	評議員選任・解任委員	渡部順子		
17	評議員選任・解任委員	遠藤則子		監事兼任
18	評議員選任・解任委員	伊藤さちい		事務員

江刺保育園 本部活動予定（日程については変更することもある）

4月 1日(火) 辞令交付式午後2時より 理事長より辞令が交付される。

4月 3日(木) 入園式午前9時20分より

新入園児、その保護者、理事長、職員、保護者会長の参加で実施します。
来賓無しで行う。

4月 任意監査 2024年度決算の確認

5月 **第1回監事監査**(佐藤晃信税理士事務所による決算の任意監査終了後に行う。)

2024年度1月から3月までの出納監査

2024年度の本部、施設の出納決算、運営状況などの監査を実施

第1回理事会

2024年度本部及び施設会計最終補正予算の承認

2024年度法人本部及び施設事業報告

2024年度法人本部会計決算の認定について

2024年度施設会計決算の認定について

2025年度施設会計第1回補正について その他

6月 **定時評議員会(決算理事会終了から14日間以降に開催)**

2024年度事業の報告、2024年度決算の承認

理事・監事任期満了に伴う次期新役員の承認

その他

第2回理事会 定時評議員会終了後に開催する。

理事により理事長を互選する。

各理事の役割を分担する。

理事会終了後2週間以内に理事長の登記及び2024年度資産登記を行う。

WAMへ令和6年度財法人現況届及び財務状況届出(6月末までに)

7月 **第2回監事監査** 2025年度4月から6月までの出納監査

8月 **第3回理事会**

2025年度本部及び施設会計の中間補正について

2025年度本部及び施設の運営状況等の報告について その他

10月 **第3回監事監査** 7月から9月までの出納監査

11月 **第4回理事会**

2025年度本部及び施設会計の中間補正について

2025年度本部及び施設の運営状況等の報告について その他

1月 **第5回理事会**

2025年度本部及び施設会計の中間補正について

2025年度本部及び施設の運営状況等の報告について その他
新年交賀会 職員との交流(感染症の状況を鑑みる)

2月 第4回監事監査 10月から12月までの出納監査

3月 第6回理事会

2025年度本部施設会計補正について
2025年度法人本部、及び施設事業計画案について
2025年度法人本部、及び施設予算案について その他

3月21日(土) 卒園式(予定)

4月 1日(水) 辞令交付式

4月 3日(金) 入園式(予定)

- 2025年(令和7年度)6月の定時評議員会の決算承認後、理事の一部と監事の任期が満了になります。理事は遠藤清賢理事、高橋樸理事、菅原則昭理事、菊池道世理事、伊藤和枝理事が、監事は酒匂節雄監事、遠藤則子監事が任期満了になります。
- 毎月佐藤晃信税理士事務所による任意監査が行われます。
- 佐藤晃信税理士事務所による固定資産現物確認は2月頃に実施します。
- 奥州市による法人運営及び会計関係の監査、県南広域振興局による施設運営及び会計関係の監査が行われます。

処遇改善及びチーム保育加算による処遇改善

今年度の処遇改善は、処遇改善Ⅰとチーム保育加算は職員全員に支給します。処遇改善Ⅱは2025年度も継続して支給し、主に常勤職員が対象になります。処遇改善Ⅱを支給する場合キャリアアップ研修の受講が義務付けられています。2025年度の職員体制はキャリアアップの制度に従った保育リーダー等を配置しています。処遇改善Ⅲは毎月の給与の手当として支給され、法人役員を兼務する施設長を除く全職員に支給されます。これらの処遇改善の事務作業的な一本化の通達がありました。チーム保育加算はクラス職員配置に基準以上の配置をした経費を除いた分を処遇改善として全職員に支給します。

また、前年度人事院勧告を受けて増額された委託費は、新たな加算という形にはなりませんでしたが、全額を処遇改善に用いるように通達が出ていますので給与に対して加算を行っています。今後も加算や処遇改善について新しい情報が入ってくると思いますので、詳しい内容が入り次第理事会で共有します。

研修会の参加

社会福祉協議会等の主催の研修、社会福祉法人運営のために行われる研修等に参加する。
佐藤晃信税理士事務所主催の法人適正化研修(会計処理等)に参加する。
その他法人運営の為に必要な研修に参加する。

2025年度(令和7年度)江刺保育園施設事業計画

1. 江刺保育の保育理念、保育目標、保育方針

保育理念 「人に愛され、人を愛する子ども」

保育理念は江刺保育園の保育を行う上で、すべての根幹になっている言葉です。「愛」ということは、ゆるすこと、存在を喜ぶこと、心を共有すること、希望を持つこと、その人のありのままを受容し、これからの人生がより良いものになるよう共に生きようとする、それらのすべての行為にあらわれるものです。同時に職員も自分自身に対して同じ心を持ち、自分自身の生きている姿を示しながら、子どもたちの成長を支えて行く、という江刺保育園の意思を示しています。

保育目標 子どもが生きる力を獲得しその過程を支える。

保育の働きは「生きる」ことを伝え、それを支えることです。健康であること、食事ができること、排せつが自立すること、言葉を獲得すること、自分の意思を伝えること、表現すること、人との関わり合いができること、命を愛すること、すべてが「生きる」ということです。子どもたちの持っている生命力を妨げることなく、良き成長ができるように支えることが江刺保育園の目標です。

保育方針

保育目標を達成するために、保育の内容を次の項目のように細分し、保育の方針を定める。個々の方針の中に含まれると思われる対応を括弧内に示しています。

健康 規則正しい生活習慣を身につける。また、正しい食事をして健康な体をつくる。

(衛生、健康診断、身体測定、食育、日常の遊び、運動会等)

人間関係 家族との関係を基礎として、遊びや交流により、多くの人との関わりを持つ。

(日常の遊び、異年齢の交流会、運動会等)

環境 安全で自由に行動できる場所を提供する。

(園舎、園庭、遊具、保育室等)

言葉 言葉を理解し、他者の思いを理解する。

(日常の生活会話と遊び、絵本、紙芝居の読み聞かせ、詩吟等)

表現 自分の意思を伝える。今の自分自身の姿を遊びや作品や演技を通して表現する。

(日常の生活会話と遊び、発表会、詩吟等)

命の尊厳 すべての命の大切さを理解し、思いやりの心を持つ。

(日常の生活、異年齢の交流、畑作り、行事等)

情緒 生まれてきたことを喜び、安心して毎日を過ごす。

(保育全般)

2. 取り組む事業

- (1) 新型コロナウイルスは第5類感染症となりましたが、予防対策は継続します。マスクの着用は利用者個人の判断に委ねます。遠足、運動会、発表会、入園式、卒園式、等は昨年度同様の形態で行います。

- (2) 副主任を設け、主任の働きを補佐します。
- (3) 地域との繋がりを継続し、保育の分野において積極的に地域社会に貢献します。
地域老人クラブ、地域自治会等と協力関係を継続します。地域の行事等に協力依頼がある時にはできうる限り協力します。ただし、コロナウィルスの影響がある場合は施設独自での実施になります。
- (4) ホームページを用いて、地域に対して江刺保育園の取組を積極的に発信します。
- (5) 他施設、関係機関との連携を強化します。
岩手県保育協議会、胆江地区保育協議会の事業、研修に参加、協力します。近隣の保育施設、小学校、中学校、高等学校、その他の施設と連携し協力関係を維持します。
- (6) 大学、保育士養成校、高等学校、中学校、個人等の体験保育、保育実習の依頼があれば受け入れます。
- (7) 発達支援の必要がある子どもたちを受け入れ、専門機関と連携を取りその成長を支えます。
- (8) 病後児保育(体調不良児)を実施します。
- (9) 幼保小運営協議会に参加協力します。
参加施設は岩谷堂小学校、認定こども園八日市幼稚園、聖愛ベビーホーム、江刺保育園。
公開授業及び公開保育の参加と実施、運営協議会により各施設の情報を共有、小学校と就学児童の情報を共有しスムーズな就学につなげます。
- (10) 保護者会を組織し、協力、連携して子どもたちの成長を支えます。
- (11) 保護者会役員会を開催し保護者の意見を取り入れ行事を計画実施します。
- (12) 定期的なヒヤリハット・怪我状況の共有、安全点検を実施し安全保育を深めます。
- (13) 保育園玄関に「声の箱」を設置し、苦情や保育に関する意見を聴き、職員に周知し、話し合い今後の保育のために役立てます。保護者等からの意見や苦情は理事会及び第三者委員に報告し、意見を頂き今後の保育運営のために役立てます。(苦情解決の対応)
- (14) 保育計画、保育記録、また送迎時間の管理等にITを活用します。
- (15) インターネットを使用した保護者への一斉送信アプリ(マチコミアプリ)を活用します。
- (16) 職員の保育能力の向上のために園外で行われる研修に職員を派遣し参加できるようにします。
- (17) 保育資質向上のため職員研修を実施します。(オンライン研修も含む)
- (18) 実践の中で個々の職員が保育への目標を設定しその目標を共有し、保育連携し、そのための全員が参加する研修を行い、個々の職員の保育能力、資質の向上に努めます。
- (19) 各職員は自分自身の保育やその他の業務対応について自己チェックを行い、自分自身の子どもたちに対する対応について見直します。より良い保育対応を行うことができるように努力します。
- (20) 保育計画、保健衛生計画、食育計画、避難防災計画、その他保育に必要な計画書、マニュアル等を作成します。
- (21) 保育担当、食育担当、衛生管理担当、子育て支援担当を明確にし、処遇改善Ⅱにより職員の給与を改善します。また処遇改善の制度によりさらなる職員処遇改善の実施に努力します。
- (22) 乳児突然死症候群予防の為、自動感知システムを導入、継続して使用します。

主な事業

以下の保育活動を行います。但し様々な感染症の影響があることを考慮して計画します。地域活動、交流事業、外部研修等は状況により中止することもあります。

延長保育事業	1時間の延長保育 18:30～19:30
特別教育・保育事業	特別に支援の必要な児童を受け入れます。
幼保小連絡協議会	江刺岩谷堂学区内の認定こども園、保育園、小学校と連携し協力します。
地域活動	地域行事の参加と協力、男石自治会、老人クラブと連携協力します。
交流事業	岩谷堂小学校、江刺第一中学校、岩谷堂高等学校、その他の学校、施設等と交流します。
食育事業	クッキング、栄養指導、食育あそび等、食育活動を実施します。
詩吟のお稽古	江刺吟詠会の指導を受け、年5回のお稽古を行います。
保育体験事業	中学生保育体験事業、高校生、その他希望者等から保育体験の依頼があるときは受け入れます。
保育実習	大学、保育士養成校の保育実習を受け入れます。
相談事業	クラス個別面談の実施、肥満相談、アレルギー、子育て等の相談を実施します。
外部研修	胆江地区保育協議会主催の研修、岩手県保育協議会主催の研修、その他必要な研修に参加します。オンライン研修にも参加します。
内部研修	職員会議や全体会議により児童の対応や課題を共有します。
保護者会共催行事	親子遠足は幼児組、乳児組に分けて行います。運動会は家族の参加人数を制限せず行います。夏祭りは職員と園児による活動として計画します。文化祭は作品展示として実施します。
教会との連携	江刺教会牧師と連携し教会クリスマス礼拝においてクリスマス・ページェントを行います。クリスマス発表会は、1部乳児クラス、2部幼児クラスの発表として実施します。

3. 開設予定日数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25	292

4. 保育予定児童数(2025年4月1日) 新入園児6名 現数/定員 60名/70名

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
継続		6	10	12	13	13	54
新規	3		2			1	6
計	3	6	12	12	13	14	60

5. 職員体制及びクラス編成

職員編成					
事務室	管理、経理、運営、等			3名	園長 主任保育士 事務担当保育兼任
保育士(正職)	保育リーダー			1名	副主任保育士
保育士(正職)	年齢別保育リーダー(幼児組)			3名	常勤保育士
	年齢別保育リーダー(乳児組)			2名	常勤保育士
保育士	年齢別保育副リーダー			4名	常勤保育士
栄養士、調理士	給食、食育担当リーダー			1名	栄養士
	給食、食育担当副リーダー			1名	栄養士
	調理リーダー			1名	調理士
子育て支援	子育て支援担当リーダー			1名	子育て支援担当主任
	子育て支援担当副リーダー			1名	非常勤保育士
非常勤保育士	保育士補助			4名	非常勤保育士
保育補助職員	保育補助員			4名	非常勤、保育専門員2名 非常勤保育補助 非常勤看護師
非常勤補助	環境整備(保育補助、清掃等)			1名	非常勤保育補助
職員総数				27名	
クラス編成					
クラス名	年齢	男	女	計	担当者
ひよこ組	0歳	3	0	3	q 主担任、副担任 補助保育士5名
	1歳	3	3	6	
ちゅうりっぷ	2歳	8	4	12	主担任、副担任 補助保育士、保育専門員
たんぽぽ	3歳	5	7	12	主担任、副担任
さくら	4歳	6	7	13	主担任、副担任
すみれ	5歳	7	7	14	主担任、副担任
給食	栄養士 調理師				栄養士2名 調理
子育て支援	会場：友遊広場及び江刺教会				主任担当保育士、副担当保育士
環境整備	掃除、保育補助				保育補助者
事務室					園長 主任保育士 副主任保育士 事務担当保育士(保育兼任)

令和7年度 江刺保育園給与栄養目標量

	3歳未満児			3歳以上児		
	カロリー	タンパク質	脂肪	カロリー	タンパク質	脂肪
江刺保育園 給与栄養目 標量	450kcal	15~22g	10~15g	390kcal	15~25g	12~18g
	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	鉄	ビタミンA	ビタミンB1
	1.9~11.0mg	180~290μg	0.19 mg	2.1~11mg	220~300μg	0.20 mg
	ビタミンB2	ビタミンC	カリウム	ビタミンB2	ビタミンC	カリウム
	0.27 mg	17 mg	mg	0.33 mg	17mg	610 mg
	食物繊維総量	食塩相当量	カルシウム	食物繊維総量	食塩相当量	カルシウム
	g	1.3g 未満	210 mg	2.9g	1.5g 未満	240 mg
	完全給食			副食のみ給食		

食物アレルギー児童に対する食事を対応（卵乳アレルギーなど）

身体測定を実施し、成長曲線を記録する。

アレルギーや肥満等があった場合、家族との面談が必要な場合は、クラス担任が主となって調理担当者・看護師と連携し対応します。

肥満や痩せの対応は奥州市の健康増進課と連携をとり対応します。

令和7年度の食育活動

「食育あそび」、「栄養指導」、「クッキング」等、各クラスとの連携により継続して実施します。

7. 年間行事計画 コロナウィルスの感染状況によって内容変更、縮小、中止等があります。

月	行 事
4月	入園式(4/3) 進級式 新入園児歓迎会 お花見 園児健康診断
5月	創立記念日 詩吟のお稽古開始 畑作り開始 保育参観(乳児)
6月	歯科健診 親子遠足(幼児) 交通安全教室 プール開き
7月	七夕祝会 夏まつり
8月	すいか割大会 終業式 始業式
9月	地震・火災避難訓練 園児健康診断 親子遠足(乳児) 保育参観(すみれ組)
10月	運動会 歯科健診 さつま芋堀
11月	作品展 保育参観(たんぽぽ組) 七五三参り
12月	教会訪問 クリスマス発表会 クリスマス礼拝参加
1月	餅つき会 幼保小公開保育 保育参観(さくら組)
2月	豆まき お店屋さんごっこ 記念撮影
3月	ひな祭り誕生会 お別れ会 入園説明会 修了式 卒園式

その他 個別面談を行います。(4月~6月)

年度末にすみれ組クラス懇談会を行います。

親子遠足は乳児クラス、幼児クラスと分けて実施します。保護者会の意見を聴きながら計画します。

毎月の取り組み

避難訓練、身体測定、誕生祝会、手作り弁当、移動図書館、食育(クッキング、栄養指導等)クラスだより、園だより、献立表、食育だより(おいしんぼだより)を発行します。

8. その他の活動

情報公開 ホームページを作成・活用し情報を発信します。普段の保育の様子は、行事を中心にしてマチコミで画像や動画を共有します。緊急一斉連絡の必要がある場合も、主にマチコミを活用して保護者に発信します。

地域との交流保育

江刺吟詠会による詩吟のお稽古

畑での野菜作り(大浪昭先生より畑を借用する)

江刺教会においてクリスマス礼拝に参加し聖誕劇を行う。

水木団子飾りを行う。

他、地域の行事に参加依頼がある場合は参加協力する。

講師による保育

詩吟のお稽古：4歳、5歳児 講師 地域協力者2名

演題：「うさぎとかめ」「雨にも負けず」

中学校、高等学校との交流

中学生、高校生の保育体験受入と交流

花植え交流会、保育園行事へのボランティア、体験保育の受け入れ、その他の交流

幼小保交流会(岩谷堂小学校学区の認定こども園、保育園との交流)

岩谷堂小学校授業参観、1年生学習発表、岩谷堂小学校おもちゃランドに参加する。

令和7年度は公開保育と研究会が江刺保育園の担当になっている。幼小保連絡協議会に参加しつつ、準備を進める。

9. 園内、園外研修

研修計画

江刺保育園の全ての職員がさらに資質を高め、自己啓発できるように研修機会を設ける。全体研修は全ての江刺保育園職員が参加するために実施方法を改善する。個別研修は各自の希望により参加できる。そのための時間を義務免除とし、遠方での研修については必要な交通費は施設が負担する。オンライン研修は保育園において受講し当日の勤務は、受講中は義務免除とする。

職員全体研修の計画案

- ▶ 保育指針に関連する保育の対応に於いて、自己チェックシートを用いて自分自身の保育について自己チェックをする。自己チェックした結果を全体会議に於いて共有し、自分自身の保育の在り方を見直し、今後の保育の方向性を協議検討する。
- ▶ 最新の保育理論、保育技術について全員で研修する。園外において研修したことを全体会議または職員会議で伝講する。講師は園長、職員が担当する。
- ▶ クリスマス・ページェント実施に向けての研修を行う。(講師は江刺教会牧師の園長が担当)
- ▶ 保育指針に基づいた保育計画作成についての研修。月案、週案の作成、経過記録、等の記録は園児管理ソフトを使用する。
- ▶ 0歳児～5歳児の年齢別の保育対応について研修を行う。
- ▶ その他、保育実技、保育対応、食育、衛生管理、等の研修を受け、園内で共有することで園全体の保育の質を高める努力をする。

その他の研修

各職員が希望する研修（岩手県保育協議会、胆江地区保育協議会、その他の施設及び民間事業者が主催する研修）に参加します。オンライン研修も同様に参加します。

胆江地区保育協議会での研修に参加

保育士部会研修(保育実技、保育実技、療育等の研修)、子育て支援部会研修、主任保育士部会研修、給食部会研修、看護師部会研修、全体講演会、親睦会、等

保育研究発表会（胆江地区、岩手県）

岩手県保育研究大会に発表者として参加し、職員に伝講し保育の参考にします。

社会福祉法人適正化セミナー

任意監査を依頼している佐藤晃信税理士事務所が主催する社会福祉法人適正化セミナーに参加します。セミナーの内容は施設運営経理について、会計処理について、社会福祉の現状について、国からの社会福祉法人に関連する通達に関連した項目についての説明会、分析等、保育業界の動向についてです。

幼保小連携のための連絡協議会

岩谷堂小学校と同一学区内の保育園、認定こども園が協力し、連携のための連絡協議会を組織し、その中で授業参観、保育参観、小学生との交流、保育や授業に対しての意見交換及び研究会を実施し、その年度の卒園する子どもたちが安心して小学生を送ることができるように支える。就学児クラス担任が担当する。協議会の内容は職員会議に於いて周知します。

各職種の主な研修

施設長研修：掛江隆史

法人運営研修：遠藤清賢、掛江隆史

主任研修及び会計経理研修：菊池道世、佐藤有子

保育事務及び会計経理研修：掛江隆史、伊藤さちい

保育関連研修：各保育士

給食関係研修：菊池千枝、松本美香、細川由紀枝

子育て支援研修：伊藤和枝、小野寺奈保子

非常勤職員も本人が希望する研修に参加できます。胆江地区保育協議会、岩手県社会福祉協議会、その他民間主催の研修に参加します。

処遇改善Ⅱの手当を支給されている職員はキャリアアップ研修を受講します。

10. 安全保育

江刺保育園安全計画を作成します。職員会議において、報告された事故の事例について分析、改善策、その件について周知します。

- (1) ヒヤリハットの実施 毎月第4週の職員会議にて報告協議
- (2) 交通安全教室 市の交通指導員により交通安全について指導してもらう。年1回
- (3) 防災避難訓練 毎月1回火災・消火・避難訓練を行う。地震、土砂災害を想定した避難訓練も行う。年1回消防署員による消火実演、防火意識の指導訓練等を行ってもらう。県防災情報を随時確認する。
- (4) 健康管理 児童健康診断 内科、歯科、年2回、
(内科：菊地内科クリニック、歯科：綾野歯科)
職員 年1回の健康診断、成人病健診、インフルエンザ予防接種
(江刺病院、菊地内科クリニック)
- (5) 環境安全 毎月園内の環境の点検を行う。その結果を職員会議で報告する。
毎月1回ヒヤリハットを実施する。保育上の事故、ヒヤリハット、保育環境の安全点検等について職員会議で発表された事例について、その中でより重要な安全上の事例を精査し、その結果を職員全体会議に於いて発表、協議し保育の安全向上に努めます。
- (6) 衛生管理 流水式洗浄除菌水生成装置を活用。乳児クラス職員、調理職員の検便(毎月)等の給食室衛生管理を(株)EYSに業務委託。各クラスに嘔吐物などの汚物処理用具を常設する。
- (7) 保険の加入 日本スポーツ振興センター、岩手県学校安全互助会、民間災害保険
バスなどを使用しての遠足等行う場合、随時、事故保険に加入。労働災害保険(公的な労働災害保険を補修する)に加入、
損害賠償保険(保育事業と子育て支援事業)の2口加入

11. 保育記録のIT化について

0歳児の午睡チェックを自動化する

0歳児の突然死症候群防止の為、午睡時の体位、呼吸状況を今まで目視により5分間感覚でチェックしてきたが令和3年度より午睡時にセンサーを装着しその間、自動チェック・目視チェックを並行して実施します。(業者：ルクミー)

サーブの園支援ソフトによる記録の省力化

「園支援ソフト」を活用し保育日誌、週の保育計画、個別経過記録の作成をパソコンによって行う。保育日誌を入力することによって個別の経過記録が日々の記録にも自動的に転記され、保育事務の業務省力化が行えます。その他、園児の登園時間、降園時間の自動的記録、自己欠や病欠の記録、延長保育の請求書作成などに使用します。

マチコミアプリの活用

無料のアプリで保護者への一斉連絡に活用しています。当日の休みの連絡にも活用しています。写真などを送ることもできるので、今後は行事の様子を共有するためにも活用します。

各職員の主な職務について

1. 保育担当リーダーA職員 1名 副主任保育士

日常保育に関する利用児童全員の保育全般について、保育計画とクラス運営について主任保育士と連携し指導的役割を担う。必要な保育研修を計画する。多職種との連携と実践がスムーズにできるように調整する。副主任保育士として主任保育士を補佐する。キャリアアップ研修はマネジメント研修を加えた4単位以上を受講すること。

2. 保育担当リーダーA職員 5名 クラス主担任

主に保育実践、保育対応について職員の意見を集約し保育の自己評価及び保育計画を作成する。「玩具の紹介（乳児用、幼児用、等）」「絵本の紹介」「手遊び、歌の紹介」等の実践、その他研修を計画する。「個別の遊び」「集団遊び」、「保育の工夫（オムツ交換、オムツ外し、食事の援助、等の工夫）」等の実践、保育の自己研鑽を高める研修に参加する。他の職種との連携、協力して保育活動を行う。キャリアアップ研修は4単位以上を受講すること。

3. 保育担当副リーダーB職員、保育補助担当リーダー 5名 主にクラス副担任

保育担当リーダーを補助し、担当リーダーと協力し、互いに意見を交換して保育対応を行う。キャリアアップ研修は1単位以上を受講すること。保育補助担当リーダーも同様の業務を行う。

4. 調理・食育担当リーダーA職員 1名

献立の作成、計画、食材の手配、栄養計算、調理室内の衛生管理等を行う。看護師、保育士と連携し利用児童の主に栄養摂取状況、成長状況を把握する。栄養指導、クッキング、食育絵本の読み聞かせ、食育活動の計画と実施等、保育と連携し食育を実践する。キャリアアップ研修は4単位以上を受講すること。

5. 調理担当副リーダーB職員 2名

調理・食育担当リーダーと連携、協力して調理業務、担当リーダーの補助的な業務を行う。栄養指導、クッキング、食育絵本の読み聞かせ、食育活動の計画と実施。キャリアアップ研修は1単位以上を受講すること。

6. 事務職担当リーダーA職員 1名

補助事業行政側提出文書の作成、委託費請求等。公定価格の分析、及び委託費計算表の作成。施設運営のための予算作成、及び補正予算の作成。給与計算書の作成、決算報告書（WAMネット現況報告、財務諸表の作成）キャリアアップ研修は4単位以上を受講すること。

7. 看護師業務担当リーダー 1名

児童、職員の健康管理、医薬品の管理及び点検健康状況の状況報告、看護師日誌の記録。保健便りの発行。キャリアアップ研修は1単位以上を受講すること。

8. 子育て支援担当リーダー 1名 副リーダー 1名

子育て支援事業について計画、実施、相談支援、ボランティアの調整を行う。

2025年度 子育て支援事業計画

会場 友遊広場または江刺教会のいずれか。活動の内容、参加者数によって会場を決める。
担当 伊藤和枝（子育て支援担当主任）、小野寺奈保子

開設時間 週5日(月～金) 10時～15時に開設。土曜日、日曜日、祝日は休み、

子育て支援事業の内容

地域社会の施設を利用していない子育て家族のための、子育て全般について以下のように支援する。

- ・子育てのための悩みや不安を傾聴する。
- ・子育ての楽しさを伝える。
- ・子育て家族の交流や仲間作り、情報交換の場を提供する。
- ・子育て家族に様々な体験の機会を提供する。
- ・子育て家族に家族の人的交流の場を提供する。
- ・保育セミナーを開催し、保育全般について基礎知識を広める。
- ・市内の様々な福祉資源を紹介する。(保健師、歯科衛生士、助産師、ハローワーク、その他)

利用料

無料(ただし教材費は実費徴収)

受入対象者

主に施設を利用していない保護者とその児童（特に子どもに関しては年齢制限を設けていない）、地域住民の方々等。但し、児童だけを預かる一時預かり保育は行わない。

10時 受入開始

10時30分～15時 自由時間(相談に応じる。主に傾聴)
情報交換、交流事業
絵本、紙芝居、制作、サークル活動など
昼食会(利用者は持参)

サークル活動事業(外部ボランティア講師による)

リトミック、骨盤体験体操、お譲り会等
活動への参加は、基本的に事前に予約申し込みが必要。
利益を優先する活動は行わない。

保育セミナーを開催

毎月1回15～30分程度の子育てに関するお話しと質疑応答の時間
講師は園長又は外部ボランティア等

友遊広場案内

広場案内は毎月1回20部程度
江刺保育園ホームページ内に紹介ページを開設